

令和6年2月7日
 子ども・若者部
 子ども・若者支援課

世田谷区子ども条例の改正に向けた検討状況について

1 主旨

世田谷区子ども条例の改正に向けた議論を開始することについて、令和5年5月31日の本特別委員会に報告したところである。

この間の世田谷区子ども・子育て会議及び子ども・青少年協議会での検討状況を報告する。

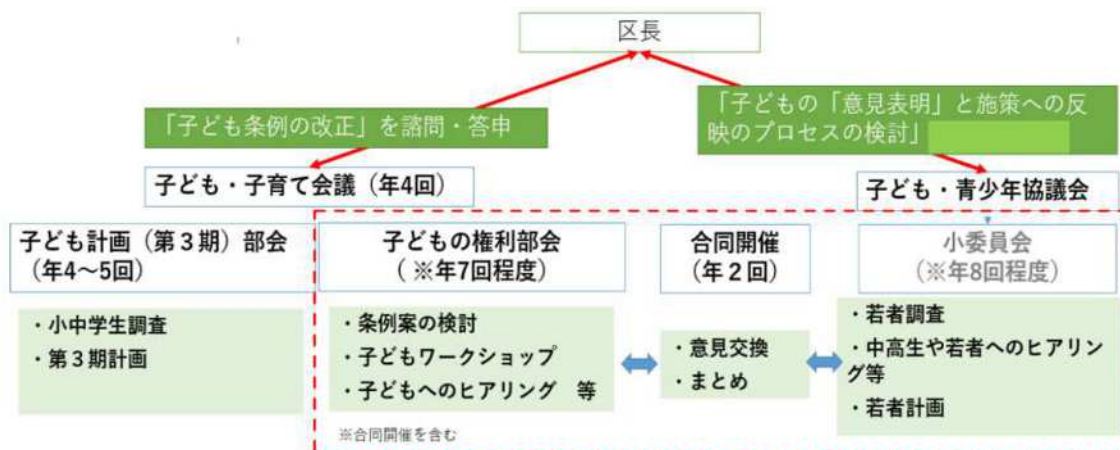
2 世田谷区子ども条例改正に向けた検討について

(1) 検討の背景と経緯

区は、平成13年12月に世田谷区子ども条例を制定し、国連の子どもの権利条約に掲げる理念のもと、「子どもがすこやかに育つことのできるまち」の実現を目指し、子ども・若者、子育て施策を前進させてきた。しかしながら、区においても、未だ児童虐待やいじめ等の子どもの権利や子どもの健やかな育ちが侵害されている現状がある。

令和5年3月に子ども・子育て会議から区に提出された「世田谷区子ども条例と子どもの権利に関する報告書」の提言や、この間の区議会からのご意見、国のこども基本法の施行も踏まえ、今一度、子ども・若者の参加のもと、区議会、区民の意見を伺いながら、世田谷区子ども条例の改正に向けた議論が幅広く必要であると判断し、子ども・子育て会議に諮問するとともに、子ども・青少年協議会でも議論を開始し、改正に向けた検討を進めている。

また、小学生・中学生・若者アンケート調査、子ども・若者ヒアリング、せたがや子ども・若者の声ポスト(インターネットアンケート)、子ども・青少年会議といった様々な方法で子ども・若者の声を聴き、その声をもとに、子ども・子育て会議と子ども・青少年協議会で、子ども・若者を取り巻く現況と課題を把握しながら、検討を進めている。子ども・若者からの意見へのフィードバックは、今後、区のホームページ等を通じて行う予定であり、来年度以降も、子ども・若者の意見聴取及び反映、フィードバックの取組みを継続的に実施していく。



(2) 子ども・子育て会議及び子ども・青少年協議会での検討体制及び経過等

子ども・子育て会議子どもの権利部会

ア 検討体制(子どもの権利部会委員)

部会長 (敬称略)

	氏名	所属・役職
1	久保田 純	日本大学 准教授
2	加藤 悦雄	大妻女子大学 教授
3	猪熊 弘子	駒沢女子短期大学 教授
4	林 大介	浦和大学 准教授
5	半田 勝久	日本体育大学 准教授
6	高橋 直之	児童養護施設 東京育成園 園長
7	三瓶 七重	砧地域子育て支援コーディネーター きぬたまの家
8	奥村 明日	公募区民委員
9	橋本 典明	公募区民委員

イ 検討経過

	日時	議事内容
第1回	令和5年 9月22日(金)	・「世田谷区子ども条例と子どもの権利に関する報告書」の提言を踏まえた論点整理
第2回	10月18日(水)	
第3回	11月6日(月) (小委員会との合同開催)	・小委員会からの意見発表 ・意見交換
第4回	12月15日(金)	・小学生 ¹ ・中学生 ² 調査(速報値)及子ども・若者の声ポスト(インターネットアンケート) ³ の結果 ・条例改正に向けた答申について
第5回	令和6年 1月11日(木)	・子ども ⁴ へのヒアリング結果 ・条例改正に向けた答申(たたき台)について
第6回	1月31日(水) (小委員会との合同開催)	・子ども・青少年会議の結果 ・条例改正に向けた答申について

1 区立小学校に通う1年生～6年生

2 区内在住の1年生～3年生

3 区内在住・在学・在勤の小学校1年生から29歳の子ども・若者

4 未就学児、日本語が母国語ではない子ども、障害のある子ども、児童養護施設にいる子ども

子ども・青少年協議会小委員会

ア 検討体制(小委員会委員)

	氏名	所属・役職
1	森田 明美	東洋大学 名誉教授
2	林 大介	浦和大学 准教授
3	堀井 雅道	国土館大学 准教授
4	石井 基子	世田谷区青少年委員会副会長
5	明石 眞弓	世田谷区民生委員児童委員協議会主任児童委員部会 部会長
6	大橋 海斗	公募区民委員
7	勢能 克彦	公募区民委員
8	若林 麻衣	公募区民委員
9	廣岡 武明	メルクマールせたがや施設長
10	下村 一	希望丘青少年交流センター長
11	奥村 啓	せたがや若者サポートステーション所長
12	森嶋 正巳	『情熱せたがや、始めました。』運営委託事業者
13	新井 佑	特定非営利活動法人 neomura 代表理事
14	近藤 三知香	若者と咲かせるネットワーク・せたがや
15	鳥生 咲希	協定大学(昭和女子大学)、大学生
16	三沢 勝斗	協定大学(日本大学文理学科)、大学生
17	遠藤 恵理菜	『情熱せたがや、始めました。』メンバー、大学生
18	中谷 友美	しもきた倶楽部メンバー、大学生

イ 検討経過

	日時	議事内容
第1回	8月30日(水)	若者アンケート調査 ¹ 、ヒアリング調査 ² (項目、対象施設)について検討
第2回	9月28日(木)	若者アンケート調査、ヒアリング調査(項目、依頼文、対象施設)について検討
第3回	10月23日(月)	若者アンケート調査確定、ヒアリング調査(実施日、担当割確認)、世田谷区子ども条例の議論
第4回	11月6日(月) (権利部会との合同開催)	・子どもの権利部会へ小委員会の意見報告 ・意見交換
第5回	令和6年 1月16日(火)	・条例改正に向けた答申(たたき台)について
第6回	1月31日(水) (権利部会との合同開催)	・子ども・青少年会議の結果 ・条例改正に向けた答申について

1 区内在住の15歳～29歳

2 区内の若者施設、学校、団体などの利用者や学生で15歳～29歳の若者と支援者

(3) 答申に向けての主な論点(子ども・子育て会議及び子ども・青少年協議会での検討状況)

子ども・子育て会議及び子ども・青少年協議会では、現在の世田谷区子ども条例について、令和5年3月の「世田谷区子ども条例と子どもの権利に関する報告書」の提言や、小学生・中学生・若者アンケート調査、子ども・若者ヒアリング、せたがや子ども・若者の声ポスト(インターネットアンケート)、子ども・青少年会議で聴取した子ども・若者からの意見等を踏まえ、条文の構成ごとに議論を重ねている。3月に予定している答申に向けた主な論点は、以下のとおりである。

子ども条例改正の目的(条例が果たす役割、何を成し得るのか)

- ア 条例制定から20年が経過し、子どもを取り巻く状況や子ども施策の多様化が進む一方である。そうした中でも、子どもの最善の利益を考え「区は子どもの最大の応援団であるべき。」という理念のもと、社会情勢や区を取り巻く環境が変わっても、子どもにとっての最善の利益を保障するため、理念を継承していくために、子ども条例を改正する。
- イ 「子どもの権利が尊重され、子どもも、大人も暮らしやすい社会」、「子ども・若者が、自分の意見を聴いてもらっている、自分の意見には影響力があることを実感できる地域社会」を目指し、「子ども条例を文化として根付かせる。」ことを目標とする。
- ウ 区民や事業者が、子育てや支援等で悩んだ際、最終的な拠り所、立ち返る原点となるよう、大事にしなければならない、基本的なことを定める。

子どもの権利の明示

ア 現在の条例には、子どもの権利の規定がなく、改正にあたっては、国連の子どもの権利条約を踏まえ、以下の(ア)～(ウ)のことを規定する必要があり、特筆すべき権利については、検討を進める。

(ア)子どもの権利条約の精神に則った条例であること

(イ)子どもの権利条約の4つの一般原則(差別の禁止(2条)、子どもの最善の利益(3条)、生命・生存・発達に対する権利(6条)、意見表明権(12条))

(ウ)4つの一般原則のほか、区の子ども・若者の現状や課題を踏まえて、特筆すべきと考える子どもの権利

子どもの参加と意見表明

ア 様々な機会で、多様な子どもの声を聴く仕組み(意見形成の支援からフィードバックまで)の構築が必要であり、明記する必要がある。

地域の取組み

ア 保護者は役割を負うだけでなく、支えられるべき存在であり、保護者を子育てで孤立させることがないように、地域社会で支えることができるような内容を明記すべきである。また、子どもの権利を尊重するために、地域社会、施設、学校、区民、区が担う役割を明記する。

イ 子どもが幸せになるためには、保護者が幸せである必要があるという考えのもと、子育てしやすい地域をつくることを目的に加える。

推進体制(評価・検証)

ア 子どもの権利の視点にたって、子ども施策を評価・検証するには、定期的なモニタリングと、独立性の担保が重要であると考えられることから、新たに第三者機関を立ち上げる必要がある。さらに、子どもの声を反映させた評価・検証の仕組みとする必要がある。

(4) 子ども・若者の意見を聴く取組みの状況

小学生・中学生・若者アンケート調査

ア 期 間

小学生・中学生アンケート調査:令和5年10月2日(月)～10月23日(月)

若者アンケート調査:令和5年11月15日(水)～12月6日(水)

イ 調査対象、調査方法、回収数・回収率

	調査対象	調査方法	回収数 (回収率)	前回(平成30年度) 回数数(回収率)
小学校 低学年	区立小学校に通う児童 1,519人(5校)	調査依頼文のみ学校 を通じて配布・イン ターネットによる回 収	743 / 1,519 (48.9%)	児童館 473 学童クラブ1,133 BOP 680
小学校 高学年	区立小学校に通う児童 1,533人(5校)		717 / 1,533 (46.8%)	
中学生	世田谷区に居住する 12～14歳の子ども 各年齢1,000人ずつ 計3,000人	調査依頼文のみ郵送 配布・インターネット による回収	809 / 3,000 (27.0%)	1,092 / 3,000 (36.4%)
若者	世田谷区に居住する 15～29歳の若者	調査依頼文のみ郵送 配布・インターネット による回収	875 / 6,000 (14.6%)	1,132 / 6,000 (18.9%) 【郵送回答】 775(12.9%) 【Web回答】 357(6.0%)
	世田谷区内の若者施設等 を利用する15～29歳の若者	調査依頼文のみ施設 や団体で配布・イン ターネットによる回 答	172	103 【郵送回答】 72 【Web回答】 31

ウ 調査結果(速報値)からみる子どもの権利や参加・参画に関する傾向(抜粋)

詳細は、別紙1参照

小学生・中学生アンケート調査結果(速報値)は、令和5年12月27日付情報提供済
若者アンケート調査結果(速報値)は、令和6年1月22日付情報提供済

(ア) あなた自身やあなたのまわりの子どもの ～ の子どもの権利は守られているか
(小学生低学年・高学年、中学生)

- A 「どんな理由でも差別されない」について、「はい」と回答した割合は、小学校低学年 59.4%、小学校高学年 68.8%、中学生 74.0%となっている。年齢が低いほど、「わからない」との回答割合が高い傾向がある。
- B 「自分にとって一番よいことは何か、大人と一緒に考えてもらえる」について、「はい」と回答した割合は、小学校低学年 77.1%、小学校高学年 76.0%、中学生 69.6%となっており、年齢が高いほど、「はい」の割合が低くなっている。
- C 「心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている」について、「はい」と回答した割合は、小学校低学年 85.5%、小学校高学年 84.9%、中学生 75.0%となっており、年齢が高いほど、「はい」の割合が低くなっている。
- D 「自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる」について、「はい」と回答した割合は、小学校低学年 74.3%、小学校高学年 76.4%、中学生 67.0%となっており、中学生では「いいえ」が 9.8%と小学生より高い傾向がある。
- E 「おうちの人からたたかれたり、ひどいことを言われたりしていない」について、年齢が高くなるほど、「はい」の割合が高くなっているが、「いいえ」と回答した割合は、小学校低学年 18.0%、小学校高学年 15.9%、中学生 11.1%となっており、7項目の中で、一番高くなっている。
- F 「自分に合った方法で学ぶことができている」について、「はい」と回答した割合は、小学校低学年 81.2%、小学校高学年 77.8%、中学生 71.2%となっており、年齢が上がるほど、割合が低くなっている。
- G 「やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができている」について、「はい」と回答した割合は、小学校低学年 87.5%、小学校高学年 80.2%、中学生 74.3%となっており、年齢が上がるほど、割合が低くなっている。

(イ) 子どもの権利を守るための仕組みであるとよいと思うこと

(小学生高学年、中学生)

「子どもが困ったときにだれにも知られず相談できる場所が地域にある(小学校高学年 74.3%、中学生 64.8%)」が、最も多い。次いで、小学校高学年では「子どもが意見を言える場所がある(64.9%)」、「子どもの困ったことや大人に伝えたいことを、伝える手伝いをしてくれる人がいる(63.6%)」となった。中学生では「困ったときに電話やSNS、メールなどで相談できるところがある(58.7%)」、「子どもが意見を言える制度がある(50.9%)」となった。

(ウ) 世田谷区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会への参加意向

(小学校高学年、中学生、若者)

「はい」と回答した割合は、小学校高学年 37.4%、中学生 30.5%となった一方で、「どちらでもない・わからない」の回答した割合は、小学校高学年 46.4%、中学生 45.1%で多い。

若者では、区の制度や施策について、約半数（49.9％）の人が自分の考えを伝えたいと思うとの回答があった。一方、伝えたいと思わない理由としては、「世田谷区に伝えたい意見がない（若者 42.7％）」が最も多い。

（エ）世田谷区に意見を伝えやすい方法（小学校高学年、中学生、若者）

「タブレットやパソコンを使った方法（小学校高学年 70.4％、中学生 77.8％）」、「LINE や SNS などのオンラインで伝える（若者 55.3％）」が最も多い。

次いで、「学校に意見を入れる箱をおくなど、身近なところでできる方法（小学校高学年 60.0％、中学生 37.5％）」、「子どもが集まり会議などで話しあって伝える方法（小学校高学年 29.4％、中学生 17.8％）」となった。若者では、「伝えた意見がどのように扱われるのかわかる（若者 46.5％）」「若者が意見を伝えることが、意義のあることだと実感できる（若者 44.7％）」となった。

子ども・若者ヒアリング

ア 実施概要

- （ア）目的：多様な子どもや若者から、直接、意見を聴取するために実施
- （イ）期間：令和5年10月26日（木）～12月27日（水）
- （ウ）対象：区内の学校・大学・施設・地域活動団体など 24施設（団体）

対象施設一覧	
区立保育園1か所（未就学児）	地域活動団体2か所（大学生、社会人、子育て中の父母）
区立小学校2か所（日本語が母国語でない子）	児童養護施設
高校2か所（都立高校、私立高校の生徒）	せたがや国際交流センター（外国人の大学生）
区内大学1か所（大学生）	メルクマールせたがや（利用者）
特別支援学校（障害のある子）	せたがや若者サポートステーション（利用者）
児童館1か所（高校生の利用者）	せたエール（利用者）
青少年交流センター3か所（高校生、大学生、社会人の利用者）	情熱せたがや、始めました。（大学生メンバー）
プレーパーク1か所（高校生の利用者）	あいりす（高校生、大学生、専門学校生の利用者）
障害者就労支援センター2か所（発達障害、知的障害のある人）	たからばこ（高校生の利用者）

(工)実施方法:子ども・子育て会議または子ども・青少年協議会委員、区職員、調査機関が現地に出向き、対面でインタビューを実施した。

イ 実施結果

(ア)ヒアリング数: 90人 (子ども、若者 71人、支援者 19人)

(イ)主な意見:

(質問) 世田谷区にどのような場所や施設があるとよいと思いますか。

- ・ 知らない人や外国人とも一緒にスポーツができるような屋外の場所。
- ・ 自習をすることもでき、大人とも話せる安全な場所。
- ・ ちょっとした隙間時間ができたときに時間を潰せる場所。
- ・ 特にない。暮らしやすい。

(質問) 最近の悩み事は何ですか。

- ・ 世田谷区内に住み続けたいと思ってもひとり暮らしをするのは、家賃が高く、物価も高いため金銭的に難しい。
- ・ 人見知りをしてしまい、相手とフィーリングが合わないと話しにくい。

(質問) 世田谷区に悩みを解決するためにしてほしいことは何ですか。

- ・ 通学時に危険を感じるので、自転車用車道を広く整備してほしい。
- ・ 相談にのってほしい。自分と同じ世代だと話にくいので、自分よりも歳上の世代に話を聞いてほしい。

(質問) 大人や社会・地域・学校に対して言いたいことはありますか。

- ・ 住んでいる地域でボランティア活動に参加したいが、区外の学校に進学した場合、情報が届かない。
- ・ 若者にもっとチャンスを与えてほしい。若者の意見が反映され、子ども・若者がやりたいことをバックアップできる世の中になってほしい。
- ・ 特にない。

ヒアリング実施結果は報告書にまとめ、令和6年3月下旬に公表する。

せたがや子ども・若者の声ポスト(インターネットアンケート)

令和5年11月20日に、区のホームページに、声を聴く取組みやフィードバックするためのプラットフォームとして「子ども・若者の声とともに作るページ」を開設し、同日より、「せたがや子ども・若者の声ポスト(インターネットアンケート)」を実施した。



ア 実施概要

(ア)期 間:令和5年11月20日(月)～12月8日(金)

(イ)対 象:区内在住・在学・在勤の小学校1年生から29歳の子ども・若者

(ウ)内 容:子どもの権利を守るための方法や意見表明の方法等

(エ)実施方法:区のホームページの回答フォームを通じて回答

(オ)周知方法:すぐーでの配信(区立小中学校)、ポスター掲示依頼(区内私立小中、区内高校、区内特別支援学校、児童館、ほっとスクール、ねつせた、青少年交流センター、まいぷれいす、せたエール、メルクマールせたがや、プレーパーク、)区内大学への情報提供、ねつせた、SNSによる配信(X、LINE)

イ 実施結果

回答数:103件

(内訳:小学生49件(47.6%)、中学生14件(13.6%)、高校生10件(9.8%)、それ以外30件(29.2%))

(ア)「子どもの権利を守るための仕組みであるとよいと思うこと」は、「子どもが意見を言える制度がある(58.0%)」が、最も多い。次いで、「子どもが、国や社会に意見を伝える方法を学ぶ機会がある(54.0%)」、「子どもに子どもの権利について、もっと学校で教える(50.0%)」となった。

(イ)「世田谷区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会への参加意向」は、「はい」と回答した割合は、60.0%となった一方で、「どちらでもない・わからない」の回答も36.0%と多い。

(ウ)「世田谷区に意見を伝えやすい方法」は、「タブレットやパソコンを使った方法(78.0%)」が、最も多い。次いで、「学校に意見を入れる箱をおくなど、身近なところでできる方法(45.0%)」、「子どもが集まり会議などで話しあって伝える方法(38.0%)」となった。

子ども・青少年会議(全4回)

ア 実施概要

(ア)対 象:区内在住・在学・在勤の小学校1年生から18歳までの高校生世代

(イ)実施日時及び会場、人数、内容

第1回	第2回	第3回	第4回
10月14日(土) 13時半～16時半 希望丘青少年交流センター	11月18日(土) 13時半～15時半 若林児童館	12月9日(土) 13時半～16時半 玉川台区民センター	1月20日(土) 13時半～16時半 北沢タウンホール
中高生世代:17名 内容: グループワーク 子どもの権利の「なんでやねんすごろく」 日常生活の中でのみんなの「なんでやねん」	小学生:19名 内容: グループワーク 子どもの権利の「なんでやねんすごろく」 日常生活の中でのみんなの「なんでやねん」	小学生・中高生世代:26名 内容: 講義「みんなのなんでやねんと子どもの権利条約」 グループワーク ・自分たちでできることを考えよう ・子どもの声を世田谷区に提案しよう	小学生・中高生世代:22名 内容: グループワーク ・次期計画や子ども条例に反映して欲しい私たちの願い ・このようなまちになってほしい(次期計画のめざす姿) 区長への提言 別紙2参照

(ウ)子どもたちからの提言

別紙2参照

実施結果については、報告書にまとめ、令和6年3月下旬に公表する。

(5)子ども条例の改正や次期計画の議論への子ども・若者の意見反映及びフィードバック

今回、聴取した子ども・若者からの意見については、子ども・子育て会議及び子ども・青少年協議会で報告したうえで、その意見を踏まえた議論を進めているところである。また、子ども・若者の意見へのフィードバックは、今後、区のホームページ等を通じて、行う予定であり、来年度以降も、子ども・若者の意見聴取及び反映、フィードバックの取組みを継続的に実施していく。

3 スケジュール(予定)

令和6年 3月 子ども・子育て会議及び子ども・青少年協議会での検討

第4回子ども・子育て会議(答申)

令和6年 5月 子ども・若者施策推進特別委員会(骨子案)

令和6年 9月 子ども・若者施策推進特別委員会(素案)

子ども・若者への意見聴取、パブリックコメント(素案)

令和7年 2月 子ども・若者施策推進特別委員会(パブリックコメント等結果、案)

第1回定例会(条例案の提案)

4月 条例施行

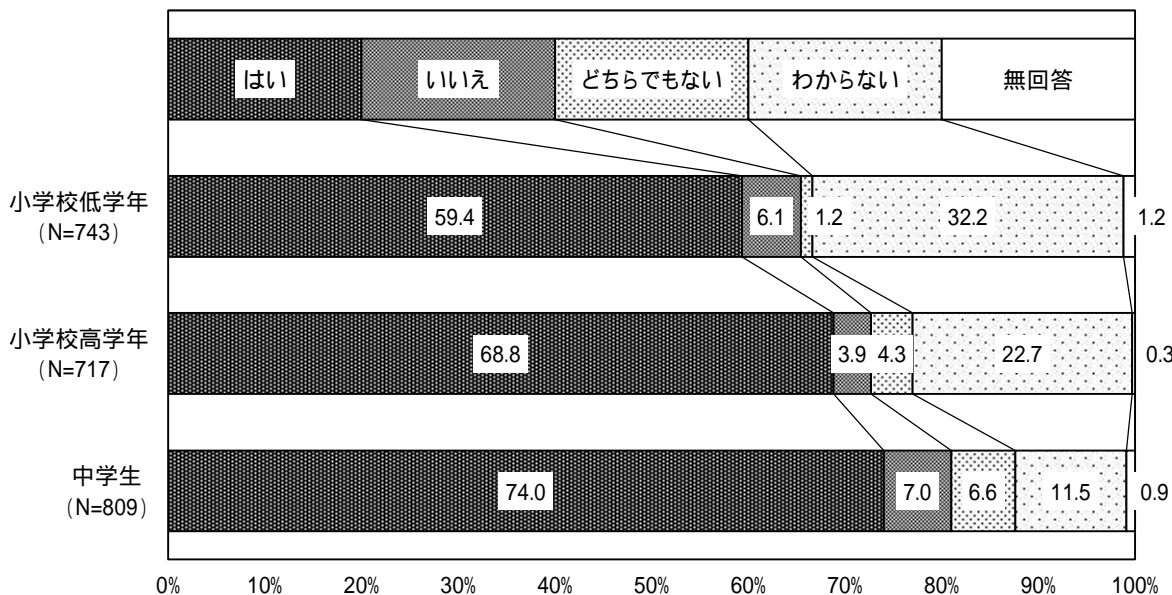
「小学生・中学生アンケート結果(速報値)(令和5年12月27日付情報提供)」より抜粋

4 子どもの権利に関すること

(1) あなた自身やあなたのまわりの子どもの ~ の子どもの権利は守られているか(小学生:問6、中学生:問18)

どんな理由でも差別されない

年齢が低いほど、「わからない」の割合が高く、年齢が高くなるほど、「はい」の割合が高くなっています。



(自己肯定感別(クロス))

小学校低学年

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		743	59.4	6.1	1.2	32.2	1.2
自己肯定感別	自分のことが好き	505	67.5	5.0	1.4	25.3	0.8
	自分のことが好きではない	76	44.7	10.5	1.3	42.1	1.3
	どちらでもない	142	40.8	7.7	0.0	50.0	1.4

小学校高学年

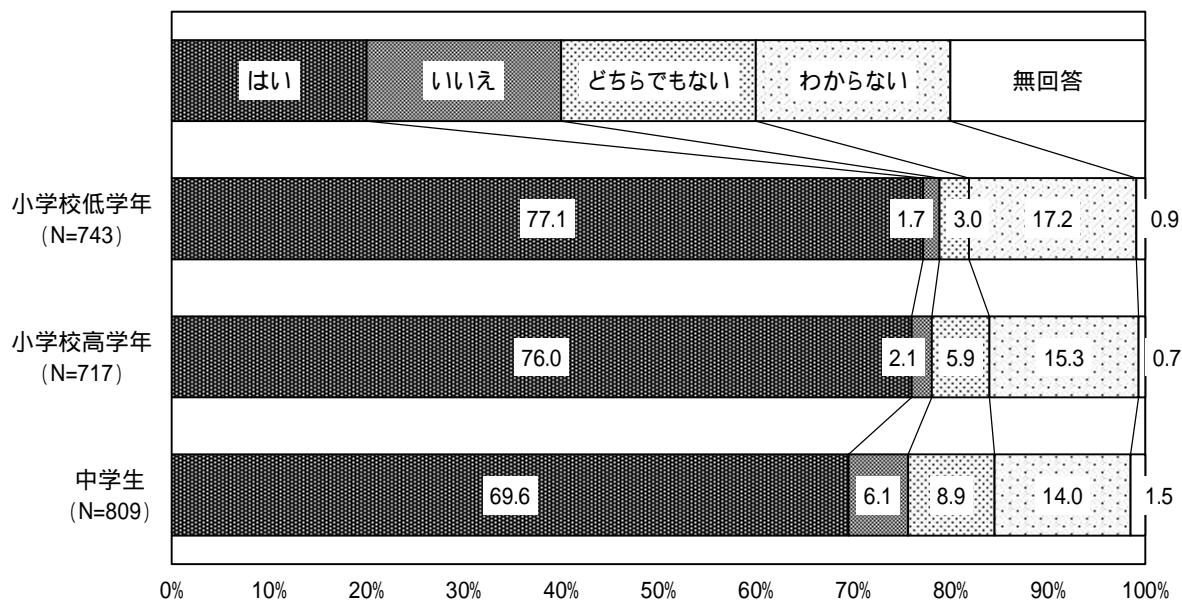
		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		717	68.8	3.9	4.3	22.7	0.3
自己肯定感別	自分のことが好き	394	76.9	3.8	3.3	15.7	0.3
	自分のことが好きではない	101	46.5	5.9	9.9	37.6	0.0
	どちらでもない	204	63.7	3.4	3.9	28.4	0.5

中学生

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		809	74.0	7.0	6.6	11.5	0.9
自己肯定感別	自分自身のことととても好き	196	81.6	4.1	6.6	6.6	1.0
	自分自身のこととまあ好き	247	81.0	4.5	4.9	8.5	1.2
	どちらでもない	182	73.6	4.4	6.6	14.8	0.5
	自分自身のこととあまり好きではない	102	63.7	12.7	5.9	17.6	0.0
	自分自身のこととまったく好きではない	71	45.1	21.1	14.1	18.3	1.4

自分にとって一番よいことは何か、大人と一緒に考えてもらえる

「はい」と回答した割合は、小学校低学年 77.1%、小学校高学年 76.0%、中学生 69.6%となっており、年齢が高いほど、「はい」の割合が低くなっています。



〔自己肯定感別(クロス)〕

小学校低学年

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		743	77.1	1.7	3.0	17.2	0.9
自己肯定感別	自分のことが好き	505	83.2	0.6	2.2	13.3	0.8
	自分のことが好きではない	76	61.8	6.6	3.9	26.3	1.3
	どちらでもない	142	65.5	3.5	4.9	25.4	0.7

小学校高学年

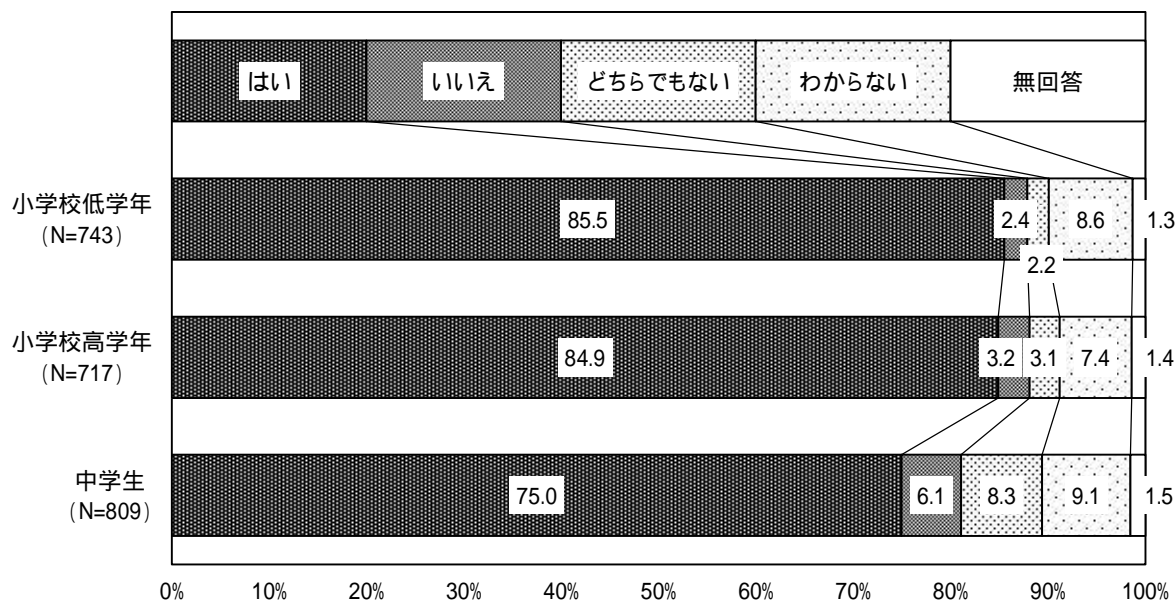
		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		717	76.0	2.1	5.9	15.3	0.7
自己肯定感別	自分のことが好き	394	83.8	1.8	3.6	10.4	0.5
	自分のことが好きではない	101	51.5	6.9	8.9	32.7	0.0
	どちらでもない	204	73.0	0.5	8.8	17.2	0.5

中学生

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		809	69.6	6.1	8.9	14.0	1.5
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き	196	82.7	4.6	4.1	7.1	1.5
	自分自身のことがまあ好き	247	78.5	4.5	6.1	10.1	0.8
	どちらでもない	182	65.9	4.4	15.4	12.1	2.2
	自分自身のことがあまり好きではない	102	51.0	6.9	10.8	29.4	2.0
	自分自身のことがまったく好きではない	71	39.4	16.9	14.1	28.2	1.4

心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている

「はい」と回答した割合は、小学校低学年 85.5%、小学校高学年 84.9%、中学生 75.0%となっており、年齢が高いほど、「はい」の割合が低くなっています。



〔自己肯定感別(クロス)〕

小学校低学年

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		743	85.5	2.4	2.2	8.6	1.3
自己肯定感別	自分のことが好き	505	90.1	1.4	2.0	5.3	1.2
	自分のことが好きではない	76	71.1	9.2	2.6	15.8	1.3
	どちらでもない	142	77.5	2.8	2.8	15.5	1.4

小学校高学年

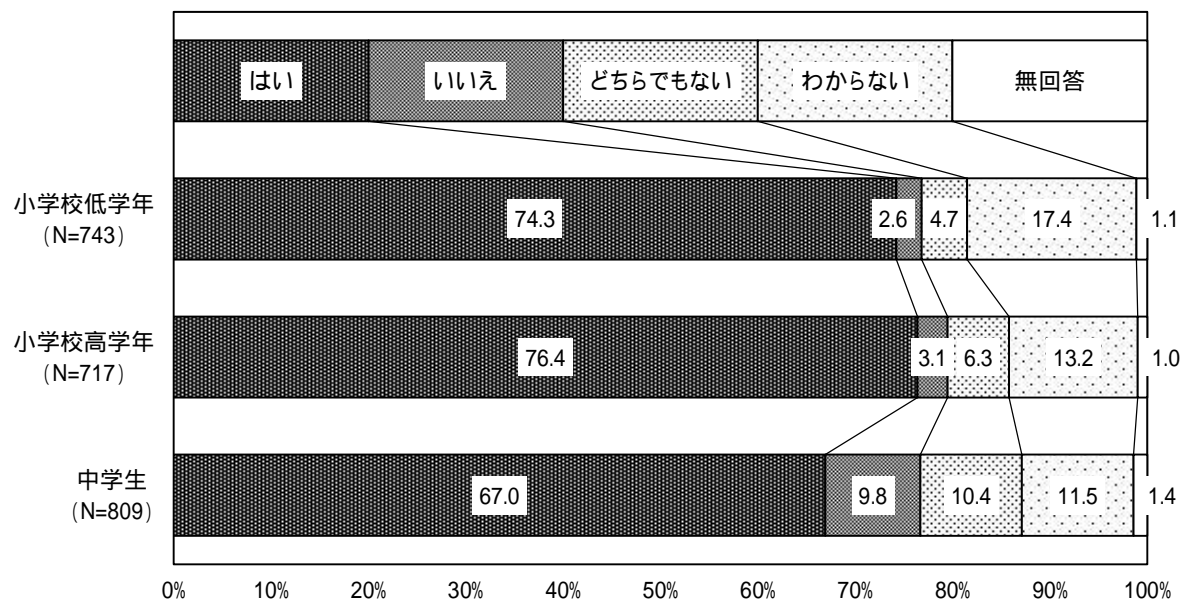
		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		717	84.9	3.2	3.1	7.4	1.4
自己肯定感別	自分のことが好き	394	91.4	2.0	0.5	5.1	1.0
	自分のことが好きではない	101	60.4	7.9	8.9	19.8	3.0
	どちらでもない	204	84.8	2.9	4.9	6.4	1.0

中学生

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		809	75.0	6.1	8.3	9.1	1.5
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き	196	85.2	4.1	4.1	3.6	3.1
	自分自身のことがまあ好き	247	84.6	3.6	4.5	6.1	1.2
	どちらでもない	182	74.2	4.4	8.2	12.1	1.1
	自分自身のことがあまり好きではない	102	62.7	10.8	15.7	10.8	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない	71	35.2	16.9	21.1	25.4	1.4

自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる

小学校低学年・高学年では「はい」が7割台、中学生では「はい」が6割台となっており、中学生では「いいえ」が9.8%と割合が高くなっています。



(自己肯定感別(クロス))

小学校低学年

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		743	74.3	2.6	4.7	17.4	1.1
自己肯定感別	自分のことが好き	505	79.8	2.6	4.2	12.7	0.8
	自分のことが好きではない	76	53.9	5.3	2.6	35.5	2.6
	どちらでもない	142	64.8	1.4	7.7	25.4	0.7

小学校高学年

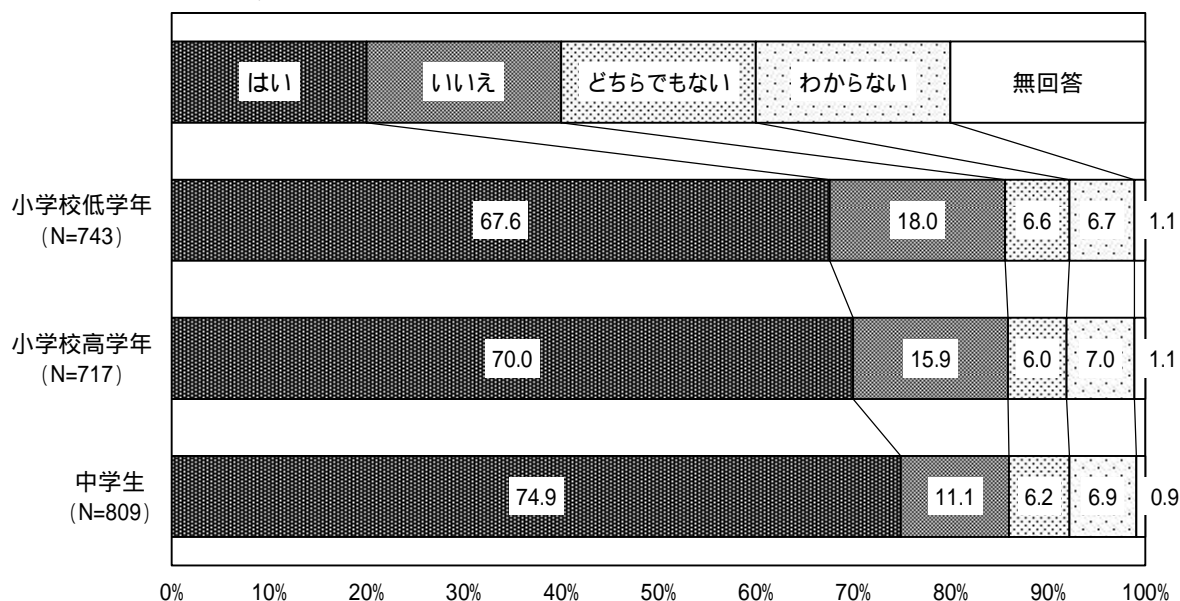
		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		717	76.4	3.1	6.3	13.2	1.0
自己肯定感別	自分のことが好き	394	86.3	1.3	4.3	7.1	1.0
	自分のことが好きではない	101	51.5	8.9	10.9	28.7	0.0
	どちらでもない	204	70.6	3.4	6.9	18.1	1.0

中学生

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		809	67.0	9.8	10.4	11.5	1.4
自己肯定感別	自分自身のこととても好き	196	81.6	7.1	2.6	7.1	1.5
	自分自身のことまあ好き	247	74.1	7.3	9.7	7.3	1.6
	どちらでもない	182	64.8	8.8	12.1	12.6	1.6
	自分自身のことあまり好きではない	102	48.0	13.7	18.6	19.6	0.0
	自分自身のことまったく好きではない	71	36.6	21.1	16.9	23.9	1.4

おうちの人からたたかれたり、ひどいことを言われたりしていない

年齢が高くなるほど、「はい」の割合が高くなっていますが、「いいえ」と回答した割合は、小学校低学年 18.0%、小学校高学年 15.9%、中学生 11.1%となっており、7項目の中で、一番高くなっています。



〔自己肯定感別(クロス)〕

小学校低学年

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		743	67.6	18.0	6.6	6.7	1.1
自己肯定感別	自分のことが好き	505	71.9	15.2	5.9	6.1	0.8
	自分のことが好きではない	76	53.9	25.0	5.3	13.2	2.6
	どちらでもない	142	57.0	24.6	10.6	6.3	1.4

小学校高学年

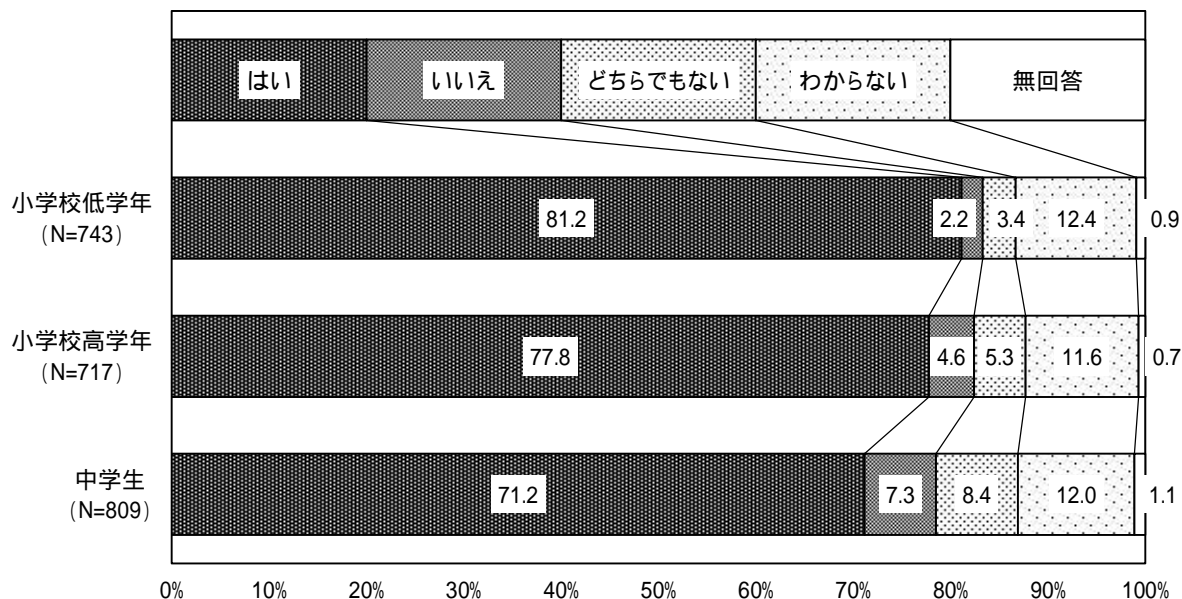
		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		717	70.0	15.9	6.0	7.0	1.1
自己肯定感別	自分のことが好き	394	76.4	14.5	2.8	5.3	1.0
	自分のことが好きではない	101	49.5	17.8	13.9	16.8	2.0
	どちらでもない	204	69.1	16.7	8.3	5.4	0.5

中学生

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		809	74.9	11.1	6.2	6.9	0.9
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き	196	81.1	8.2	3.6	6.1	1.0
	自分自身のことがまあ好き	247	76.9	10.9	6.5	4.5	1.2
	どちらでもない	182	76.4	9.9	7.1	6.0	0.5
	自分自身のことがあまり好きではない	102	69.6	13.7	5.9	10.8	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない	71	52.1	19.7	11.3	15.5	1.4

自分に合った方法で学ぶことができている

年齢が高いほど、「はい」の割合が低くなっており、小学校低学年 81.2%、小学校高学年 77.8%、中学生 71.2%となっています。



〔自己肯定感別(クロス)〕

小学校低学年

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		743	81.2	2.2	3.4	12.4	0.9
自己肯定感別	自分のことが好き	505	85.5	1.8	2.0	10.3	0.4
	自分のことが好きではない	76	75.0	2.6	6.6	13.2	2.6
	どちらでもない	142	69.0	3.5	6.3	19.7	1.4

小学校高学年

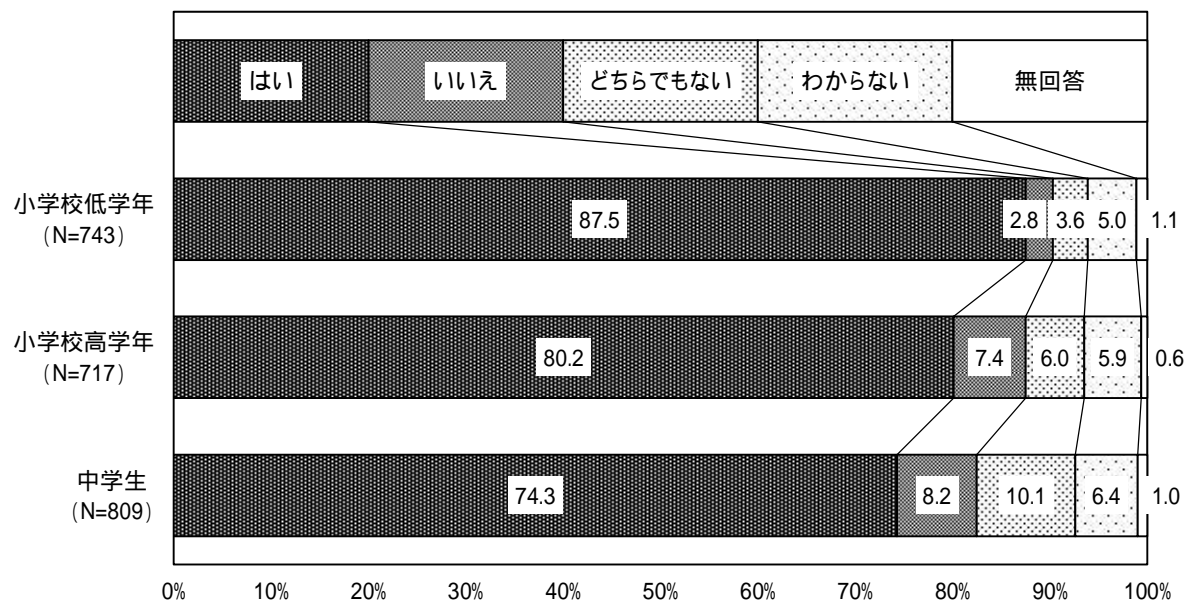
		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		717	77.8	4.6	5.3	11.6	0.7
自己肯定感別	自分のことが好き	394	87.3	2.5	2.5	6.6	1.0
	自分のことが好きではない	101	56.4	7.9	10.9	24.8	0.0
	どちらでもない	204	69.6	7.4	8.3	14.7	0.0

中学生

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		809	71.2	7.3	8.4	12.0	1.1
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き	196	81.1	5.6	4.1	8.2	1.0
	自分自身のことがかまあ好き	247	80.2	4.0	7.3	7.7	0.8
	どちらでもない	182	65.9	5.5	9.9	17.6	1.1
	自分自身のことがかあまり好きではない	102	52.9	15.7	16.7	14.7	0.0
	自分自身のことがかまったく好きではない	71	56.3	15.5	8.5	16.9	2.8

やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができています

年齢が高いほど、「はい」の割合が低くなっており、小学校低学年 87.5%、小学校高学年 80.2%、中学生 74.3%となっています。



〔自己肯定感別(クロス)〕

小学校低学年

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		743	87.5	2.8	3.6	5.0	1.1
自己肯定感別	自分のことが好き	505	90.7	2.2	3.2	3.2	0.8
	自分のことが好きではない	76	78.9	2.6	6.6	9.2	2.6
	どちらでもない	142	81.7	4.2	4.2	9.2	0.7

小学校高学年

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		717	80.2	7.4	6.0	5.9	0.6
自己肯定感別	自分のことが好き	394	87.8	3.8	3.8	4.1	0.5
	自分のことが好きではない	101	57.4	15.8	10.9	15.8	0.0
	どちらでもない	204	76.0	10.3	8.3	4.9	0.5

中学生

		サンプル数	はい	いいえ	どちらでもない	わからない	無回答
全体		809	74.3	8.2	10.1	6.4	1.0
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き	196	82.7	6.1	3.6	5.6	2.0
	自分自身のこと まあ好き	247	80.6	4.9	9.3	4.5	0.8
	どちらでもない	182	74.2	8.8	10.4	6.0	0.5
	自分自身のことあまり好きではない	102	61.8	13.7	13.7	10.8	0.0
	自分自身のことまったく好きではない	71	46.5	16.9	25.4	9.9	1.4

中高生 【学校・校則】

中高生【学校・校則】

【ポイント1】

- 校則については、中学生は、主に制服の自由度など服装に関するものが多い。高校生は、髪型やメイクなど身なりに関するものが多い。
- 自分たちで現状を改善させていくために、意見箱を設置し、意見を入れてもらうように、みんなに発信する。
- 自分たちの意見が先生たちに納得してもらえるように、意見や事実、調べた事実を交えながら伝える。
- 先生方と生徒がフラットな関係性で話し合える環境が必要だと考える。

制服の
自由化工夫が
必要ルールを
決め先生の
自由?

【ポイント2】

- 中高生が意見表明しても、そこに大人の手が加わる人が多い。そのまま発信して欲しい。
- もしも大人が手を加える必要があるときは、納得のできる理由や根拠をちゃんと説明してからにして欲しい。
- 先生によっての個人差や学校による格差をなくして欲しい。
- すべての先生が子どもの権利を知り、私たちとの話し合いの機会をしっかりと持つようにして欲しい。

校則の
理由
明確化(先生?)
ルール
理由中学生は、
なぜ?

【ポイント3】

- 不登校の人に対しての先生の理解が薄いと感じる。
- もう少し子どもの気持ちや接し方を考えて欲しい。
- 先生に対する研修などが必要だと感じる。

中高生 【公共施設・居場所】

中高生 [公共施設・居場所]

①

【ポイント1】

- 中学生・高校生世代が居ても大丈夫だと感じられる居場所がない、もしくは少ない。若者が集まるアクセスしやすい場所に無料で自由に使える中学生・高校生が居られる場所を増やして欲しい。
- Wi-Fiや電源が使える自習室やおしゃべりしながら勉強できる場所（スタディカフェなど）が欲しい。
- 中学生の自習室の利用時間について、青少年交流センターや図書館などで時間が異なるので、統一して欲しい
- 図書館は大人が優先されているように感じる。中高生の意見も聞いて使い方を決めて欲しい。

どこにも
Wi-Fi

勉強
休息
環境
環境

営業時間
統一
(図書館)

【ポイント2】

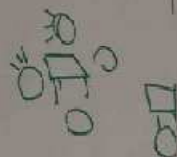
- 自転車での移動が多い中学生・高校生にとって、自転車専用道路が狭かったり、自転車専用道路がないことで危険に感じている。
- コンポストを活用するなどして、もっとまちの緑化を推進して欲しい。
- 世田谷区が誰にとって住みやすく、より居心地のいい場所になるために、まちづくりに関することを決定するときには、子ども・若者の意見もきちんと聞いて欲しい。

駅近

勉強！
勉強 21:00 ~ 11:00 夜

【ポイント3】

- 中高生が大人に意見を伝える機会を増やすことが必要。
- 中高生も、自分たちの意見が大人に納得してもらえるように、現状や根拠、調べた事実を交えながら伝えられるといい。
- 大人が若者の声に耳を傾け、大人と若者がフラットな関係性で話し合える環境が必要。



X19

中高生 【情報】

中高生【情報】

【ポイント1】

- 世田谷区が中高生のためにさまざまな施策やイベントを実施しているも、それらの情報が中高生に伝わっていない。^{*1}
- 中高生が必要に迫られ、ホームページなどで探そうと思っても、なかなか自分の知りたい情報にたどり着けない。
- 中高生にとっては、デザイン的にも見たいと思えるものではない。ホームページのデザインに中高生の声を反映するとい
- SNSを活用すべきだ。子育てアプリの中高生版のようなものがあるといい。スマホで簡単に、中高生を対象にしたいろんな情報・イベントが一括で見られるようにして欲しい。

*1
チラシ
ポスター
いいのね。

西村 伸太郎
タブレットに
アプリを
学校
協力

情報と
得にくさ
解決つり

ホームページ
情報い
ほしい改善

そもそも
知らない

オンライン
チャット

【ポイント2】

- 中高生を対象とした情報提供のためには、中高生のアイデアを取り入れて更新し続けられるように、中高生が主体的に活動できる仕組み作りや組織が必要。
- その組織では、多くの子どもたちの声を集めたり、中高生アプリなどの運営や、子ども施策への提言などをする。
- 中高生が必要な情報を手に入れることができれば、最初は情報を得ただけだった中高生が、やがて情報提供の担い手になるというような循環を生み出せるのではないか。
- 若者が自らアイデアを実現し、社会に貢献するための制度を創設して欲しい。

青少年
会議の
情報伝達
リモート
参加

【ポイント3】

- 自ら手をあげて参加するだけでなく、アンケートやヒアリングなど、さまざまな形で、子どもの声を聴いて欲しい。
- 誰でも世田谷区に意見を言えるようにして欲しい。
- 子どもの声がきちんと反映されるか検証する仕組みも必要。^{*2}

*2
意見と意見
ページを
HPに

なんで子ども
会がは今日
までなん
ですか？

小学生 【学校・先生・友達】 1枚目

小学生 [学校・先生・友達]

【ポイント1】

- 休み時間にはどのように過ごすか自分たちで選択できるようにして欲しい。
「教室で遊びたい」「外で遊びたい」など
- 遊具や環境を整備して欲しい。
「遊ぶ遊具などを増やしてほしい」「本の数を増やしてほしい」
「休み時間に体育館（屋上）を自由に使いたい」など

学校は、遊べる。遊具が決められている。
（1日1回遊ぶ遊具）

学校のせい、校庭が、モラル、自由な選択、校庭で、ボール遊び、えー！公園は20分ほど。

授業と授業の間の休み時間長くしてほしい。初めはやがて授業の時間が短くなる（し）から

モラルの明らかならば、学校に任せてほしい（授業）

【ポイント2】

- 先生によっては、授業中にトイレに行けなかったり、行きづらかったりする。きつく怒る先生もいる。
- 着替えの場所が男女で差があることがある。
- 友だちから叩かれたり悪口を言われたり、授業中にうるさくしたり、嫌だなと思うことがある。
- 先生の対応に個人差があり、おかしいと感じる。

トイレは、自由に行きたい。トイレの時間、自由に行きたい。

自由に行きたい。トイレは自由に行きたい。

先生や友達に嫌いなこと、言わなくていい。

先生による掃除の時間に差がある...

先生は、給食を遅くして、おやつを早くして、おやつを早くして。

意味不明な、先生は、おやつを早くして、おやつを早くして。

先生は、悪口を言われる。先生は、悪口を言われる。

【ポイント3】

- 自分たちでアンケートなどを使って大人に自分たちの意見を伝えていきたい。
- 子どもの権利について、必要に応じて主張したい。

意見のやり取り、意見のやり取り、意見のやり取り。

意見のやり取り、意見のやり取り、意見のやり取り。

【ポイント4】

- 大人だけで勝手に決めないで欲しい。
- アンケートやさまざまな仕組みで、子どもの声をしっかりと大人に届けて欲しい。
- 大人も子どもも子どもの権利を知ることができるようにいろいろな方法で多くの人に伝えて欲しい。

意見は、直接言いたい。意見は、直接言いたい。

意見のやり取り、意見のやり取り、意見のやり取り。

大人は、大人に話さない。

小学生 【ごみ問題などの環境】 1枚目

小学生【ごみ問題などの環境】

【ポイント1】

- まちの中にごみが落ちていたり、ごみを捨てる人がいることについて改善して欲しい。
- 公園や道路、池にもごみがいっぱいあるので、もっと緑を大切にしてごみのないまちにしたい。
- プラスチックをもう少し減らす取り組みが必要。

電信柱が
まうい
電信柱が
まうい
奇形な
電信柱
会(社)の
人
減らさ
れたい

ゴミ箱が
外にない。
家のゴミ箱は
家の人が
ゴミを
捨てる

近所の人が
ゴミを
捨てる。明日
下す

二ヶ所のゴミ
やばい

自転車のゴミ
いらないと
おっしゃるが
ゴミを捨てる
場所がない

【ポイント2】

- たばこの煙などの臭いは不快で、公園や道でたばこを吸う人がいなくなって欲しい。
- 車やバイクの排気ガスも臭くて不快。
- 猛スピードで走る自転車や車などの交通ルール違反も怖いので、もっと道路が安全になって欲しい。
- 緑道は、緑があるし遊べるので増やして欲しい。

排気ガスが
臭い
バイクの
排気ガス
が臭い
公園で
吸う

何の道にも
安全
防犯カメラ
ほしい

自分にも
リサイクル
缶がほしい

手紙が
ポスト
がない
増やせ

理想は
全部
ほしい

【ポイント3】

- 自然災害が起きた時の避難所について、避難所を多くして欲しい。
- 犬やネコといっしょに逃げやすい場所がないと聞いて、悲しかったのと怖い気持ちになったので、動物を飼っている人が行ける避難所があればいい。

動物の
避難所
ほしい
動物の
避難所
ほしい
動物の
避難所
ほしい

自転車の
道がほしい

車は
停止線
ほしい

【ポイント4】

- ごみやまちのこと、自然災害など、環境に関することについて決めるときには、子どもの意見もちゃんと聞いて決めて欲しい。
- 子どもも意見を言えるようにポストが公園や家の近くなどまち中に増えればいいと思う。
- 大人は、子どもが安心して過ごすことができるように考えて欲しい。

ごみ
LINE
学校
定期的
意見
ほしい

歩道が
せめて
反対
歩道
ほしい

通学路に
車
の
通行
時間
ほしい

ごみやまち
の
意見
ほしい

大人は
子ども
の
意見
ほしい

みんな
の
意見
ほしい

小学生 【ごみ問題などの環境】 2枚目

小学生 [ごみ問題などの環境]

【ポイント1】

- まちの中に^{ごみ}が落ちていたり、ごみを捨てる人がいることについて改善して欲しい。
- 公園や道路、池にもごみがいっぱいあるので、もっと緑を大切にしておきのないまちにして欲しい。
- プラスチックをもう少し減らす取り組みが必要。

【ポイント2】

- たばこの煙などの臭いは不快、公園や道でたばこを吸う人がいなくなって欲しい。
- 車やバイクの排気ガスも臭くて不快。
- 猛スピードで走る自転車や車などの交通ルール違反も怖いので、もっと道路が安全になって欲しい。
- 公園は、緑があるし遊べるので増やして欲しい。

【ポイント3】

- 自然災害が起きた時の避難所について、避難所を多くして欲しい。
- 犬やネコといっしょに逃げていい場所がないと聞いて、悲しかったのと怖い気持ちになったので、動物を飼っている人が行ける避難所があればいい。

【ポイント4】

- ごみやまちのこと、自然災害など、環境に関することについて決めるときには、子どもの意見もちゃんと聞いて決めて欲しい。
- 子どもも意見を言えるようにポストが公園や家の近くなどまち中に増えるといいと思う。
- 大人は、子どもが安心して過ごすことができるように考えて欲しい。

追加のアイデアとイラスト:

- 家前にたばこコップの回収箱を置いて捨てるのはいいよ
- 公園のたばこ回収箱
- シガレットの回収箱を公園に設置してほしい
- 防犯セットを巨猫に頼んでほしい
- たばこを吸うな
- 犯罪は減らす (悪い、殺人とか、サマ、犯罪、警察など)
- 自由な遊びの場を確保してほしい (公園)
- 大人たち、子どもたち、子どもたち、みんな協力してほしい
- 子どもたち、意見を言えるようにしてほしい
- おんねんがせう、おんねんがせう、おんねんがせう
- 木をキリたが、すなはち、金と金
- せんそうが、おきないでほしい
- 事件が起きた時、家に帰る時、こわい
- ぼんぼん、ぼんぼん、ぼんぼん

小学生 【遊び・居場所】 1枚目

小学生「遊び・居場所」

【ポイント1】

- 公園のない地域があるで公園をもっと作って欲しい。遊具も増やして欲しい。
- ボール遊びが禁止されている公園も多くある。放課後などに自由に遊べる場所が欲しい。
- どこにどんな公園があるのか、確認できるようにして欲しい。ボール遊びができる公園があったとしてもそれがどこにあるのか分からない。遊べる公園がすぐに確認できると嬉しい。

【ポイント2】

- 緑道を増やして欲しい。緑道は、遊ぶ場所になり、環境としても緑が増えていいと思う。
- バスケ・サッカー・卓球・ダーツ・スケボーなど身体を動かせる場所が欲しい。
- 本屋・映画館・外で静かに休める場所、雨でも遊べる場所など、いろいろな過ごし方ができるようにして欲しい。

【ポイント3】

- 習い事や塾などで遊ぶ時間が少ない。
- 宿題が多くて遊べない。
- 友達と遊びたい。

校庭開放
ふせて。

小学校の
遊具は
ほしい
ういっ

トイレを
きれいに
しろ

雨の日でも
雨が降ると
はしゃいで
ほしい
学校

図書館
体育館
学校

ボール
投げはOK
17歳まで
やめて！
ボールは
学校で
(学校)



公園で遊んでほしい
公園で遊んでほしい
公園で遊んでほしい

公園で遊んでほしい
公園で遊んでほしい

家に遊びたい
ほしい

ボール遊びが
禁止の公園
はだめ!!

公園の
おもしろい
ところ

毎日の時間
宿題は多い!

塾の宿題を
学校で減らさ
ないでほしい

公園の
おもしろい
ところ

公園の
おもしろい
ところ

生活の授業の時
たいてい先生
が宿題を
やらせたり
するから
減らしてほしい

公園で遊ぶ
友達を増や
してほしい
公園で遊ぶ

習い事の時間
友達と
遊ばない

公園の
おもしろい
ところ

公園の
おもしろい
ところ

公園の
おもしろい
ところ

MaPeNi



公園の
おもしろい
ところ



小学生 【遊び・居場所】 2枚目

小学生【遊び・居場所】

【ポイント1】

- 公園のない地域がある。で公園をもっと作って欲しい。遊具も増やして欲しい。
- ポール遊びが禁止されている公園も多くある。放課後などに自由に遊べる場所が欲しい。
- どこにどんな公園があるのか、確認できるようにして欲しい。ポール遊びができる公園があったとしてもそれがどこにあるのか分からない。遊べる公園がすぐに確認できると嬉しい。

【ポイント2】

- 緑道を増やして欲しい。緑道は、遊ぶ場所になり、環境としても緑が増えていいと思う。
- バスケ・サッカー・卓球・ダーツ・スケボーなど身体を動かせる場所が欲しい。
ビリヤード・ホッケー
- 本屋・映画館・外で静かに休める場所、雨でも遊べる場所など、いろいろな過ごし方ができるようにして欲しい。

【ポイント3】

- 習い事や塾などで遊ぶ時間がない。
- 宿題が多くて遊べない。
- 友だちと遊びたい。

家の近中
おしゃべり
場所がない
公園
静かじゃない
小さい
遊具も少ない

どこに公園が
あるのかわからない
フリーにしてほしい

ポール遊びが
できる公園が
どこにあるか
知りたい
学校の場外
街中の場外
公園2,70

壁のそば
あるかどうか
(その辺に公園)
ほしい

雨でも遊べる場所
ほしい
雨でも遊べる場所
ってイメージ
児童館は
もう少し
静かしてほしい
人が少なくて
いいかな

1日の宿題
多いほうがいい
7かから
遊べる時間

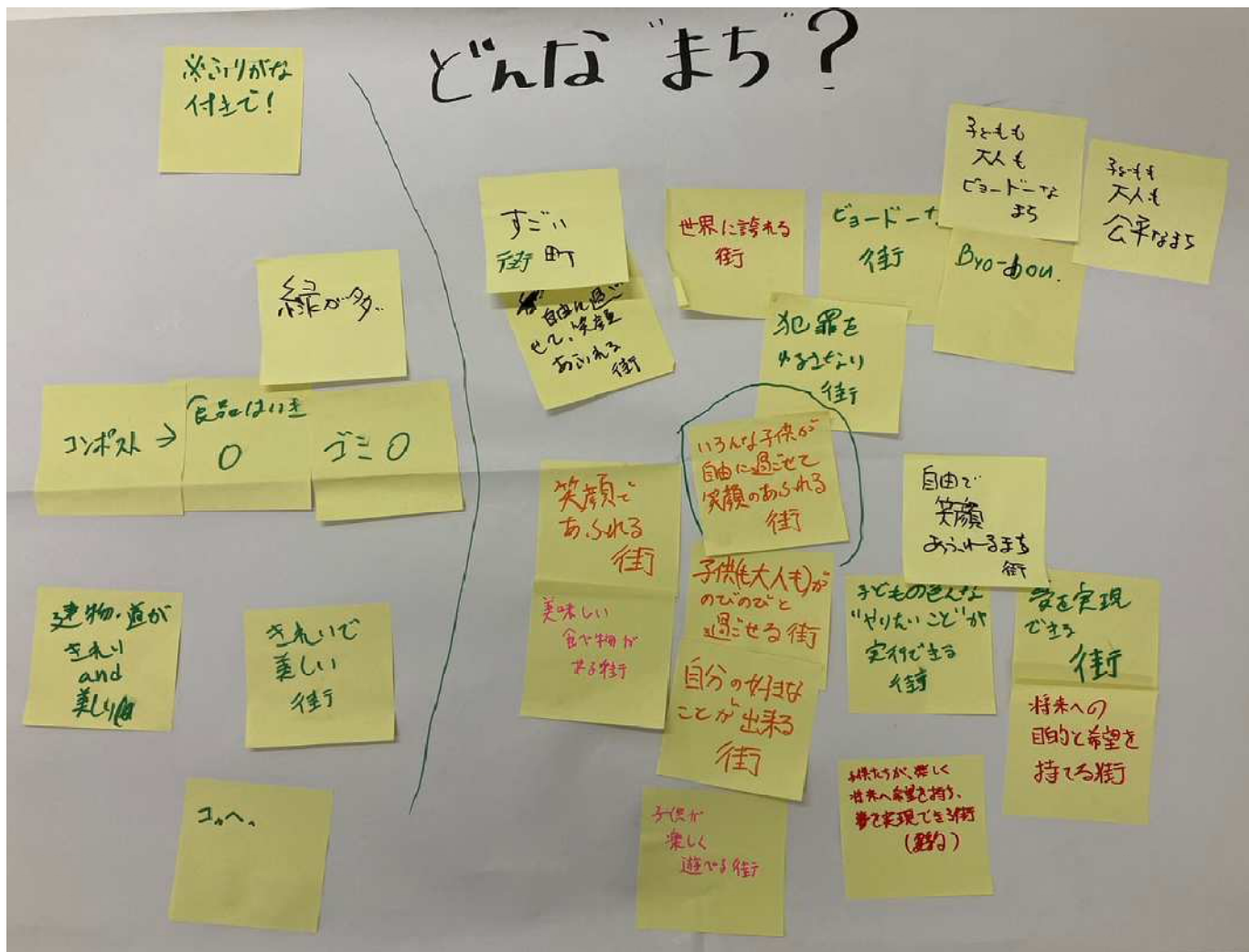
学校の
外に
勉強してほしい
ってほしい?

子供の権利
条約
違反してないの?

学校外の
勉強が
強制してるの?
あかしい

長期休暇の
宿題も
休んでほしい
って権利なの

どんなまちがいい
中高生



小学生 2枚目

どんなまち?

ゴール-フ

★外に子どもが
溢れるまち

★自然が溢れる
まち

★みんなが
自分らしく
いれるまち

車や歩行者
の安全

安全なまち
犯罪や通行人
交通の妨げ
がない

遊び場所が
たくさんある

からくま
まち
建築物を100%
バリアフリー
のまちにする
見守り活動
↓
安心

障がい者
の生活が
しやすい

女性や若者
が活躍する
まち

子どもが
安心して
遊ぶ

歩むまち
まち
建築物が
歩きやすい

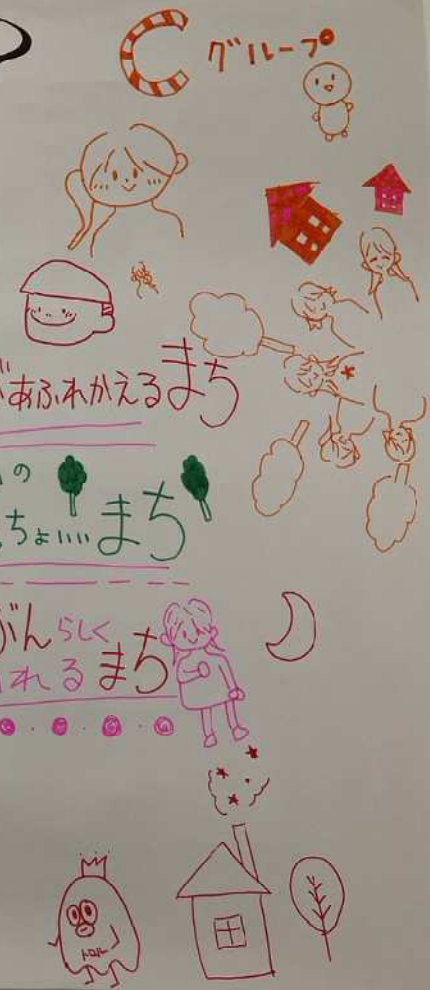
自然が
溢れる
まち

みんなが
自分らしく
いれるまち

外に子どもが遊ぶ場所があるまち

自然がいっぱい
歩む楽しいまち

みんなが
安心して
いれるまち



小学生 3枚目



